

事務事業名 ちくしの高年大学事業

出力日：令和04年03月15日

キーコード：636

施策：	20	生涯学習・社会教育の推進	財務コード	01090602-06-00
基本事業：	02	生涯の学びを地域で活かせる人づくり	担当部	教育部
基本事業の成果指標	地域で活動する人材の育成人数 生涯学習ボランティア新規登録数 自らの知識や能力を活かし、地域で活動している市民・団体の数		担当課	生涯学習課
			担当係	生涯学習推進・青少年担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成13年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
60歳以上の市民			60歳以上の市民を対象に、生涯を通して楽しめる生きがいを見つけるため、学習の場を提供する。  対象：60歳以上の市民（定員：100人） 場所：生涯学習センター 日程：5月～2月、原則第1・3火曜日（最大受講期間は、4年間） 受講料：無料（教材費及び館外研修費等は、自己負担）						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			【内容】 教養講座：教養を高めるための講座等 専門講座：郷土史、合唱、絵画等から選択 クラブ活動：ボランティア実践のための技術修得の学習 社会参加活動：夏休み工作教室、高齢者サロン訪問 その他：交流会、館外研修						
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	01年度実績	02年度実績	03年度当初	04年度要求	05年度計画	06年度計画	目標
受講者数		人	78	62	100	70			70
受講修了者のうち地域等で活動している人の割合		%			100	100			90
5. コスト									
事業費		計	千円	799	19	751	320		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他	千円	0	0	0	0		
一般	千円	799	19	751	320				
正職員人工数		人工	0.1	0.1	0.1				
正職員人件費		千円	807	803	792				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	1,606	822	1,543	320			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている  どちらかといえばあがっている  あがっていない（停滞・低下）		令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業内容を変更し、教養講座のみ実施した。 「地域等で活動している人の割合」R01・02実績値については、新型コロナウイルス感染症のため調査していない。							
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	本事業はカルチャー事業と地域の人材育成事業を重ねていることを踏まえて、近年60～80人の受講生が集まっていることから、受講生の学習に対する意識は高い。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	あり						
成果向上余地	大きい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
高齢者を対象とした事業の在り方について検討を行う。									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					備考・特記事項 or 進行管理欄				
今後の高齢社会に向けて、高齢者が豊かな経験を生かして、社会参加を実践するとともに、受講生相互の親睦を深める学習の場を提供するため、平成13年度から事業を開始した。									